

令和6年(2024年)3月4日

大阪狭山市立小中学校  
児童生徒の皆さん、保護者の皆さん  
教職員の皆さんへ

大阪狭山市教育委員会  
教育長 竹谷 好弘

### 部活動地域移行アンケート結果について(速報版)

平素は本市の教育活動にご尽力いただき、ありがとうございます。先日回答いただきましたアンケートについて、集計できましたので、ご報告いたします。

回答数：児童生徒(4年生から中学1年生) 1,472名 同保護者 1,116名 教員 110名

#### 【小学生】

##### ○放課後の過ごし方(現在)【複数回答可】

- ・サッカーやダンス等運動系の習い事(41.9%)
- ・ピアノや習字などの習い事(31.2%)
- ・学習塾など(28.9%)

➡休日も同様の傾向があり、地域の習い事や塾で過ごしている人が多いようです。

##### ○先生が中心となる部活動がないとしたらどうするか?【複数回答可】

- ・先生以外の方が教える部活動(42.9%)
- ・サッカーやダンス等運動系の習い事を続ける(40.0%)
- ・学習塾などに通う(23.2%)

➡放課後を学校で過ごしたいと思う一方、地域の習い事や塾で過ごすことも考えている人もいます。

##### ○興味のある部活動【複数回答可】

- ・バドミントン(25.6%)
- ・美術(23.0%)
- ・科学・理科(19.2%)
- ・バスケットボール(19.2%)

➡中学校は運動部所属の割合が高いため、文化部の希望が多くなっているのは意外でした。



##### ○その他興味のある部活動及び意見

- ・ダンス ・パソコン ・将棋 ・ゴルフ ・演劇 ・器械体操 ・習字 ・チアダンス ・スケボー
- ・クラブは途中に変えていいですか ・ダンスのクラブってありますか ・水泳がない
- ・部活動がなくなって行く場所がない人はどうなるんですか? ・外部でサッカーをする
- ・友達とカラオケなどに行く

習い事や塾に通っている小学生が多く、また興味のある活動も多岐にわたっていることがわかりました。

## 【小学生保護者】

○仮に教員が中心となる部活動がない場合、放課後の過ごし方で考えているものに近いもの

【複数回答可】

- ・先生以外の人が指導する部活動に入ると思う（50.2%）
- ・学習塾（家庭教師）など（44.4%）
- ・サッカーやダンスなど運動系の習い事（38.7%）
- ・ピアノや習字などの習い事（21.7%）

➡教員の指導でなくても学校での指導に期待する保護者が半数以上いることがわかりました。  
また、学習塾の割合も多く、その他の回答でも「家で勉強」や「図書館などへ行く」といった、学習への期待も高いことがわかりました。

○教員が中心となる部活動がなくなり地域の方や専門性の高い人の指導となることや、市内の中学校と合同の部活動となり、活動場所が子どもの通う中学校でなくなることに不安なことを教えてください。【複数回答可】

- ・指導料などの金銭的負担（55.1%）
- ・移動手段について（82.8%）
- ・学校の教員が顧問でないこと（14.2%）

➡活動場所まで移動があることに不安を感じる保護者が多数いることがわかりました。また、教員以外が指導することに対し、金銭的な負担に不安を感じている保護者も半数以上いることがわかりました。

一方で、教員が顧問でないことへの不安はそこまで高くないこともわかりました。

教員が指導する、しないに関わらず、「学校（自校）での活動」や「金銭的な負担」を重視していることがわかりました。

## 【中学生】

○部活動に対する満足度

- ・肯定的な回答（73.0%）
- ・否定的な回答（8.5%）

➡現状に満足している人が多いようです。その理由としては、「先輩が優しい」や「友達と一緒に練習できる」など、人との関わりについて満足しているようでした。一方、「回数が少なすぎる」や「趣味の予定と被る時が多い」といった、期待している活動ではないこともあるようです。

○【地域の方や専門性が高い方が部活動の指導者になった場合】放課後の過ごし方で考えているものに近いものを教えてください。【複数回答可】

- ・先生以外の人が指導する部活動に引き続き入る（58.2%）
- ・学習塾（家庭教師）など（30.3%）
- ・サッカーやダンス等運動系の習い事をしようと思う（23.3%）
- ・ピアノや習字など運動系以外の習い事をしようと思う（14.6%）

➡指導者が変わっても引き続き、今の活動を続ける人が半数以上いることがわかりました。

中学生は「友達や先輩との関係」を重視しているようで、指導者が変わっても今の関係性を大切にしたいことがわかりました。

## 【中学生保護者】

### ○部活動に対する満足度

- ・肯定的な回答（60.4%）
- ・否定的な回答（23.8%）

➡子どもたちに比べて満足度は低い傾向にあります。「ハードではないこと」や「家族との時間が確保できること」、「習い事と両立できる」ことが肯定する意見である一方で、否定的な意見として、「回数や活動時間の短さ」や「あまり楽しそうではない」こと、「練習のレベルの低さ」がありました。

### ○【段階的に地域の方や専門性の高い方が指導者になった場合】放課後の過ごし方で

考えているものに近いものを教えてください。

- ・先生以外の方が指導する部活動に引き続き入る（70.2%）
- ・学習塾（家庭教師）など（30.7%）
- ・サッカーやダンス等運動系の習い事をしようと思う（19.3%）
- ・ピアノや習字など運動系以外の習い事をしようと思う（11.8%）

➡指導者が変わっても引き続き、今の活動を続けて欲しいと考える保護者が多いことがわかりました。また、指導者としては「地域の方より専門性の高い方」や「外部の指導者の質」を重視する意見が多くなりました。

### ○子ども一人ひとりの謝礼はいくらぐらいが妥当だと思いますか。（月額）

- ・1,000円未満（21.4%）
- ・1,000円以上 3,000円未満（38%）
- ・3,000円以上 5,000円未満（23.5%）
- ・5,000円以上 7,000円未満（12%）

➡多くの保護者が月額1,000円以上で回答しています。7,000円以上も5%以上おり、習い事と同様に、「一定の費用負担が必要だ」と考えている保護者が多数いることがわかりました。

### ○ご意見

- ・学校とのかかわりが希薄になるのでは
- ・謝金が必要なら習い事と同じ
- ・指導者の質の担保
- ・専門の方の指導で先生の負担を少なくしてほしい
- ・先生方の長時間労働や経験のない先生方が顧問になるのは大変
- ・事故やケガ等の責任の所在
- ・放課後に打ち込むことが無くなってしまうと間違った方向に使う子供が増える事が怖い
- ・放課後に校内で習い事をする感覚
- ・中学生にとって部活動は本当に貴重な体験なので奪わないでほしい



中学生の保護者も教員が指導する、しないに関わらず、「学校（自校）での活動」や「金銭的な負担」を重視しているとともに、ケガやトラブル、また勝利至上主義に偏らない、「指導者の質」を気にされていることがわかりました。

## 【教職員（中学校）】

### ○部活動の地域移行に対する意見

- ・賛成・どちらかという賛成（79%）
- ・反対・どちらかという反対（7%）
- ・わからない（14%）

➡約8割の教職員が「地域移行」に賛成しています。



### ○主な理由としては【複数回答可】

- ・教材研究・授業準備にかかる時間の確保（62.3%）
- ・プライベートな時間（54.4%）
- ・教職員の専門的な技術・指導力の不足（48.2%）
- ・保護者の過度の期待（21.9%）
- ・部活動を通じた子どもとの関り（19.3%）

➡子どもとの関りは大切である一方、長時間勤務への負担感が多くなっています。



### ○その他意見

- ・部活動は教員の業務ではないはず。現状が根本的に間違っていると思っています
- ・教員の善意に基づいて成り立っているのに、安全面の確保等、細かく制限がある
- ・授業づくりにかかる時間が、休日はプライベートな時間がなすすぎる
- ・放課後は家庭・地域の役割だったものが、いつしか学校に頼りきりになり、学校の役割が増えすぎています
- ・地域移行になった際のトラブルに関する懸念

### ○部活動が地域移行されたとき、指導員として参加したいですか？

- ・参加したい（4.4%）
- ・参加したくない（63.2%）

➡教職員の苦しい状況が表れています。



### ○その他意見

- ・部活動指導に対する体力がもうない。
- ・授業づくりや生徒との関わりなど、部活動以外の教員業務に集中して頑張りたい。
- ・自分が役に立てる内容があれば参加したい。
- ・教員としての業務量が多く、時間的にも体力的にも限界。自分と家族の健康を優先したい。

## 【おわりに】

子どもたちや保護者の皆さまの部活動への期待は、大きいものだということが、よくわかりました。また、教職員の長時間勤務に対してもご理解いただいております。地域移行に伴う費用負担も一定の理解をいただいていることも、わかりました。

一方で、指導者が先生以外となる場合の、質の担保や、学校外など他の学校に移動しての活動への不安、また部活動や習い事に対する保護者の考え方も多様化していることも、よくわかりました。

教育委員会としましては、これらの意見を基に大阪狭山市の地域移行を計画的かつ段階的に進めてまいります。今後も本市の学校教育へのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

